

第1学年3組 学級活動（3）学習指導案

【日時】令和7年7月23日（水） 10:20～11:05 【場所】1年3組教室 【指導者】宮崎 剛

本授業の参観の視点

夏休み明けの「なりたい自分」を目指し、「これまでの学び」を生かして具体的な取組を考え、友達とのやり取りを通して自分に合った自己目標を意思決定する児童の姿をご覧ください。

1 題材名 やるきスイッチ！オン！～なつやすみでミラクルチェンジ！～

2 題材の構想

(1) 題材について

本題材は、学級活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現「ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成」に関わる活動である。1年生にとっては小学校生活初めての夏休みとなる。これまで経験したことのない長い休みに見通しをもち、計画的に過ごしていくことは1年生の発達の段階を考えると難しいことである。しかし、今後の生活リズムや学習習慣の基盤を形成していく1年生という大切な時期に、何も目標を立てず漫然と過ごしてしまうことは、貴重な成長の機会を失くすことにつながっていく。そこで、児童にとって近い将来である夏休み明けの「なりたい自分」に向かって、自分に合った自己目標を意思決定し、強い意志をもって取り組んでいくことは、夏休みをより充実した価値のあるものに変えていくと考える。また、自己目標達成に向け、実践を継続して行い、少しでも自己の成長を感じることができれば、自己肯定感を育むとともに、9月以降の小学校生活において新たな目標をもち、そこに向かって力強く進んでいこうとする態度を育成することにもつながっていくと考える。

(2) 児童について

本学級の児童は、学級活動（2）「すっきりミラクルチェンジ（整理整頓）」を題材に、小学校生活で初めて自己目標を意思決定し、実践、振り返りを行った。「探る」の段階では、なぜ整理整頓ができないのか自分達の行動を振り返りながら考えを述べたり、「見つける」の段階では4月からの学びを生かし具体的な解決方法を考えたりすることができた。「決める」段階では、どのように自己目標を立てればよいのか悩む姿が多く見られたが、教師のアドバイスや友達の立てた自己目標を参考にすることで全員が自己目標を意思決定することができた。実践では、7割の児童が自己目標達成に向けて自分が決めた時間に地道に取り組む姿が見られたが、3割の児童は実践が疎かになっていた。その原因として、題材が自分事となっていないこと、自己目標が曖昧になっていたことが考えられる。以上のことから、本題材では自分事として題材を捉え、他者との交流を通してより明確で期待感のある自己目標を意思決定し、家族の協力も得ながら、夏休みに強い意志をもって実践に取り組む姿を目指していきたい。

(3) 指導について

指導に当たっては、夏休み後の「なりたい自分」を目指して、自分に合った自己目標を意思決定し、実践を通して自己の成長を感じることができるよう学習を進めていく。学級活動（3）の題材で自己目標を意思決定する学習は初めてのことであるため、2時間構成で学習を進めていく。

前時の学習では、4月からの自分や学級の成長を学習面や生活面で振り返っていく。これまでの成長を感じ、達成感を味わわせるとともに、これから先さらにどのようなことができるようになりたいかを考えさせることで、夏休み明けの「なりたい自分」像を具体的にもつことができるようにしていく。

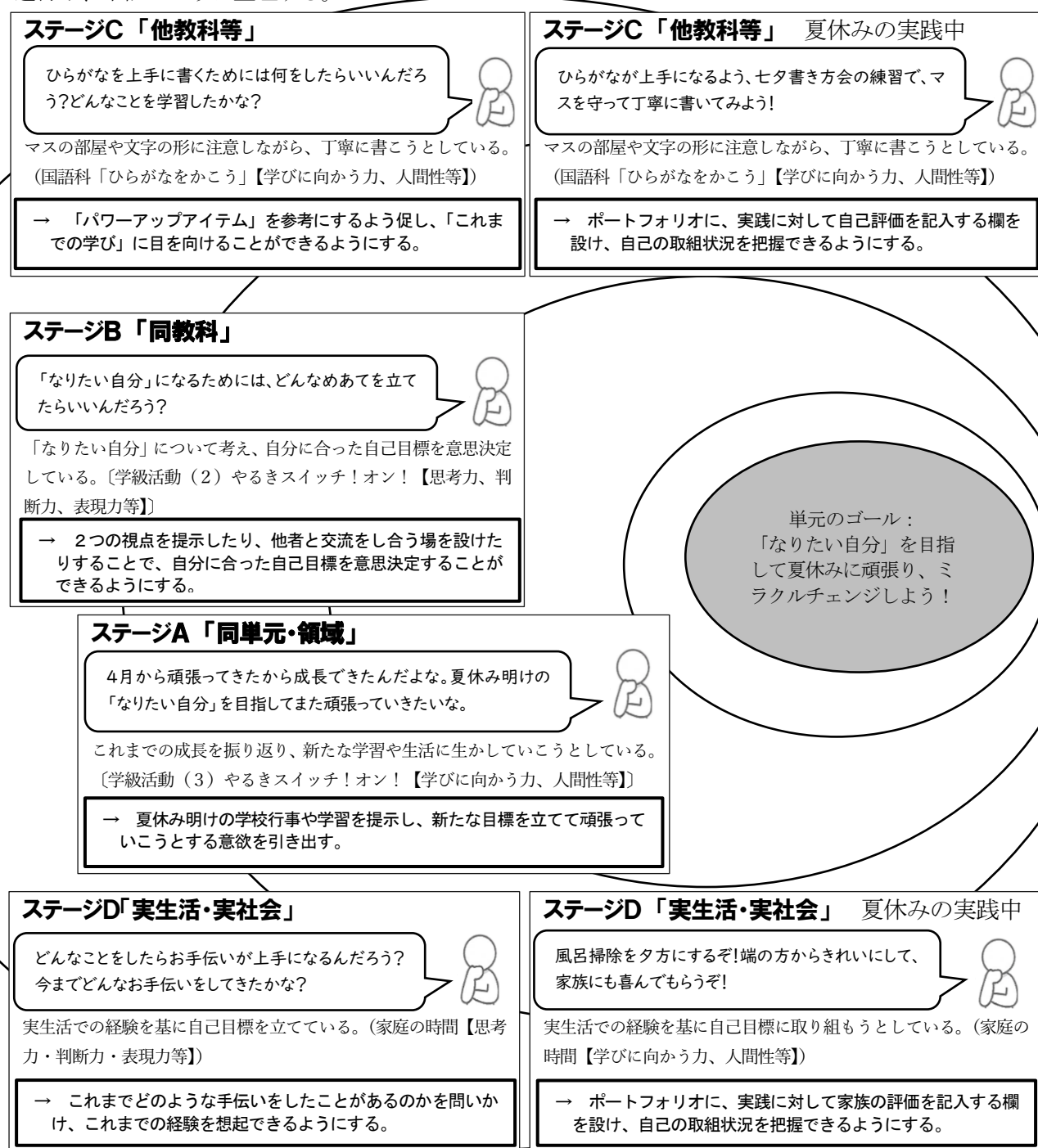
本時の学習では、「つかむ」段階で、夏休み明けの学校行事や学習を提示することで、なぜ「なりたい自分」を目指す必要があるのか目的意識を明確にし、自分事として題材を捉えることができるようにする。「さぐる」段階では、普段の学校生活と夏休みの違いを考えることで、夏休みのイメージをもった上で自己目標を立てる活動につなげるようにする。「見つける」段階では、「なりたい自分」を目指し、どのようなことに取り組みればよいのかを個人やグループで考える場を設ける。その際、「これまでの学び（各教科等の学びや実生活での経験）」を用いて具体的な取組を考えることができるよう、教室に掲示している「パワーアップアイテム」を参考に促す。「決める」段階では、「①具体的で達成できたかを判断できるか」「②夏休みに続けて取り組むことができるか」の2つの視点を提示し、自己目標を立

ることができるようにする。その際、2通りの自己目標の候補を立ててもよいことを伝え、その後の友達との交流を通して、より明確で期待感のある自己目標を意思決定することができるようにしていく。

事後の活動では、実践に対する自己評価だけでなく、保護者にも評価をお願いし、取組状況を客観視できるようにする。また、実践途中に自己目標が適切であったかを再度確認し、付け加え・修正を行ってもよいことを伝え、よりよい自己目標を意思決定し、意欲を継続して取り組めるようにする。夏休み明けに、実践の様子や成長を報告し合う場を設け、お互いの頑張りを認め合うことで、達成感を味わうとともに、今後の学校生活や日常生活にこの経験を生かしていこうと意欲を高めることができるようにしていきたい。

(4) 期待する「回遊する学び」について

題材及び本時における児童の姿を小学校全体テーマの「回遊する学び」に関わる内容と資質・能力に関連付け、下記のように整理する。



3 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

希望や目標をもつことの意義を理解し、夏休み明けの「なりたい自分」になるための自己目標を立て、主体的に実践することができるようにする。

(2) 評価規準

ア 希望や目標をもつことの意義を理解し、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 【知識・技能】

イ 希望や目標をもつことについての課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合った目標を意思決定し、実践している。 【思考・判断・表現】

ウ 現在及び将来にわたってよりよく生活するために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて進んで行動しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

4 単元の指導計画（全2時間 本時2／2時間目）

次	時	主な学習活動（○）	指導上の留意点（・）	評価規準（◆）【観点】	回遊
話し合い活動	1	○4月からの自分や学級の成長を振り返り、さらに今後どのように成長したいかをポートフォリオに記入する。	・写真を提示したり、「パワーアップアイテム」を参考に促したりすることで、これまでの成長や、夏休み明けの「なりたい自分」像を具体的に考えることができるようにする。	◆希望や目標をもつことの意義を理解している。 【知・技】	A
	2本時	○普段の学校生活と夏休みとの違いを考える。 ○夏休みに取り組む自己目標を意思決定する。	・普段の学校生活の様子を提示することで、夏休みの特徴を捉えやすくする。 ・自己目標を立てる視点を提示し、他者と交流し合う場を設けることで、自分に合った自己目標を意思決定することができるようにする。	◆「なりたい自分」になるための取組について話し合い、自分に合った自己目標を意思決定している。 【思・判・表】	A B C D
事後の活動	課外	○自己目標の達成に向けて実践する。 ○実践途中、自己目標が2つの視点に合っているのか再度見直す。 ○朝の会を使って報告会を行い、実践を通じた自分の成長について考える。	・ポートフォリオに実践に対する自分の評価と家族の評価を色で表す欄を設け、実践を振り返ることができるようにする。 ・学級通信で実践途中、一度自己目標を見つめ直す時間をもつよう家庭に依頼し、より自分に合った自己目標になるよう付け加えや修正をしたり、実践意欲を継続したりできるようにする。 ・実践を報告する場を設定し、実践後の自分の成長を感じることができるようになるとともに、夏休み明けの学校生活や日常生活に生かしていこうと意欲を高めることができるようにする。	◆「なりたい自分」を目指して意思決定した自己目標に取り組んでいる。 【知・技】 ◆実践を通して自分に合った自己目標であるかを考えている。 【思・判・表】 ◆実践を振り返り、現在及び将来に向けての学校生活や日常生活に生かそうとしている。 【主】	A B C D

5 本時の指導（2／2）

(1) 指導目標

夏休み明けの「なりたい自分」を目指し、夏休みだからこそできる取組について話し合い、自分に合った自己目標を意思決定する基礎力を身に付けることができるようにする。

(2) 評価規準

イ 「なりたい自分」になるための取組について話し合い、自分に合った自己目標を意思決定している。 【思考・判断・表現】

(3) 展開（波線部は「回遊する学び」に関わる手立て）

学習活動と児童の反応（{ }）	教師の働きかけと形成的評価（◆）
1 本時のめあてをつかむ。（5分） - 勉強を頑張ると自分のためになるし、手伝いを頑張るとクラスや家族のためになりそうだな。 - 夏休みが終わって成長した姿をみんなに見せたいな。何を頑張ったらいいんだろう。	1-(1) 前時に取った夏休みに関するアンケート結果を提示することで題材への関心を高める。 1-(2) 夏休み明けの学校行事や学習を提示し、なぜ夏休みにめあてを立てる必要があるのか、目的を明確にすることができるようにする。（A）
ミラクルチェンジできるよう、なつやすみにがんばりたいことをきめよう！	
2 普段の学校生活と夏休みの違いを考える。（10分）	2-(1) ある1日の学校生活の様子を提示し、夏休みとの違いを考える際に参考にできるようにする。 2-(2) 近くの友達との交流を促し、考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。 2-(3) 夏休みのいいところと気をつけたいところを分けて板書し、取組を考える際に参考にすることができるようにする。 2-(4) 3年生の昨年度の夏休みの過ごし方についてインタビューした動画を準備し、必要に応じて視聴し、参考にすることができるようにする。
3 「なりたい自分」を目指して、夏休みだからこそ取り組めそうなことを考える。（15分） (1) 個人やグループで考える。 - 字が上手になるためにはマスの部屋に気を付けて姿勢よく練習すればよかったよね。 - 計算を間違えないようにするためには、色んな問題を繰り返し解けばいいんじゃないかな。 - 鉄棒が上手になるためには、体育で習ったポイントに気をつけながら練習したらいいよ。 - 早寝、早起きは時間を決めて絶対に守るようにしたらできるようになったよ。 - 夏休みは時間があるから、風呂掃除にチャレンジしてみるのもいいかも。 (2) 全体で共有する。 - 夏休みは時間がたくさんあるから、できそうなことが色々あるんだな。	3-(1) 「なりたい自分」を目指して夏休みだからこそできることは何かを問いかけ、具体的な取組を考えることができるようにする。 3-(2) 教室に掲示している「パワーアップアイテム」を参考に考えてもいいことを伝え、「これまでの学び」に目を向けながら具体的な取組を考えることができるようにする。（CD） 3-(3) 「なりたい自分」像に近いと思う友達にどんな取組をしているのか聞きに行ってもよいことを伝え、考えを広げることができるようにする。 3-(4) 個人やグループで考えた取組は付箋に記入するように促し、自己目標を立てる際に参考にすることができるようにする。 3-(5) 全体交流で「何をどのようにする」の視点を用いた取組を取り上げ、自己目標を考える際に意識できるようにする。
4 自己目標を意思決定し、実践への意欲を高める。（15分） ①七夕書き方会の練習でマス目の部屋に気を付けて書く。 ②七夕書き方会の練習でとめ、はね、はらいに気を付けて書く。 七夕書き方会の練習で、マス目の部屋を守って、とめ、はね、はらいに気を付けて書く。 - 家族にたし算の問題を5問出してもらう。 - 鉄棒をしっかり握って、足を大きく振り上げて練習する。 8時半には布団に入って目をつぶる。 - 風呂掃除をする時に、きれいになるように端から端まで丁寧にスポンジで洗う。	4-(1) 自己目標を立てる際に①「何をどのようにする」が分かるか、②夏休み続けることができるものなのかという視点を提示し、具体的な自己目標を立てることができるようにする。（B） ◆ 2つの視点を基に、自分に合った自己目標を立てているか。 （ポートフォリオ、観察）【思・判・表】 B 2つの視点をもとに、自己目標を立てている。 C→ 付箋に書いてある取組を参考にしよう促したり、一緒に考えたりする。 4-(2) 友達と自己目標の意思決定に向けて話し合う場を設けることで、自己目標に対する自分の思いを伝えたり、内容を吟味したりすることができるようにする。 4-(3) 関わりのある先生からの応援動画を提示し、実践への意欲を高めることができるようにする。